

一般社団法人管路診断コンサルタント協会
理事（副会長） 菅原 一孝



上下水道事業は、維持管理の時代となり、管理・更新一体のマネジメントが求められています。そのなかで管路に関する劣化・老朽化状態の調査や改築・修繕計画に対するニーズや重要性は、これまで以上に高まっています。

このような背景のなか、管診協や会員各社が担う役割は、単に調査や計画業務に留まらず、新たなマネジメントに向けた取り組みも必要です。これらを実現するには、会員各社の連携によって技術の向上や人材確保に向けた取り組みが必要であり、これに微力ではございますが尽力していく所存です。

よろしく願いいたします。